

ハミール(アスベスト関連)Q&A

Q1:「ハミール」のどこにアスベストが使われているのか？

A1:圧迫鋳造の際に鋳造リングを押さえる“圧迫蓋”(上)及び“リング受台”(下)のリングの接する面に、耐火性のシール材としてはめ込まれています。部品名(単品販売名)は「ハミールパッキン」です。

Q2:アスベストの種類は何か？

A2:クリソタイル(白石綿)でした。(アスベスト含有量は80%でした。)

Q3:「ハミールパッキン」は今でもアスベストを使用しているのか？

A3:「ハミールパッキン」は、装置に付帯していたものも含めて、1996年5月以降販売のものは、代替品に切替え済みです。

- ★ 1996年4月以前の「ハミールパッキン」(アスベスト使用品)につきましては、直ちに使用を中止していただき、代替品(ノンアスベスト品)に切替えてご使用下さい。
- ★ なお、代替品との交換時には、粉塵を吸入しないよう、必ず防塵マスクを着用いただき、また、なるべく粉塵が立たないようにお取扱いいただき(例えば、水で湿らせるなど)、外したパッキンは直ちにビニール袋等に粉塵が放出しないよう密封し、産業廃棄物業者に「アスベストである」ことを明示の上、処分してもらうようお願いいたします。
- ★ 処分に困られる場合は、2006年3月末日までは、弊社にて処分させていただきますので、粉塵が立たないように密封した上、弊社営業所まで直送して下さい。

Q4:代替品は安全なのか？

A4:代替品につきましては、アスベストは含有しておりませんが、鋳造作業や交換作業時に粉塵が発生する可能性がありますので、防塵マスクを必ず着用するなど、一般粉塵への対応と同様の対策を講じて下さい。

Q5:代替品の成分は？

A5:人造ガラス質繊維です。

Q6:「ハミールパッキン」のアスベスト使用品とノンアスベスト品の見分け方は？

A6:①ハミールパッキン(小)の場合:

単品包装(箱)の側面、社名の上方にロット番号(6桁の数字)が印字されていれば、ノンアスベスト品です。(アスベスト使用品の箱には、ロット番号を印字していませんでした。)

②ハミールパッキン(大)の場合:

単品包装(ビニール袋)に貼ってあるシールに記載の社名が「トクヤマデンタル」であれば、ノンアスベスト品です。

Q7:「ハミール」を販売していた“トワ技研(株)”と“(株)トクヤマデンタル”の関係は？

A7:弊社は、2001年10月1日に「旧 トワ技研(株)」に、(株)トクヤマの歯科材料部門を統合し、「(株)トクヤマデンタル」に社名変更しました。

Q8:「ハミールパッキン」の添付文書を下さい。

A8:「ハミールパッキン」は「ハミール」の部品であり、単独で医療機器に該当しないので添付文書等は作成していません。

Q9:「トワクリスタルリボン」*については、アスベストは使用されていないのか？

A9:「トワクリスタルリボン」については、発売当初よりアスベストは使用していません。

(*ハミール、ハミールパッキンとは直接関係はありません。いわゆる鋳造用リボンです。)

Q10:アスベストに関する詳細な情報を欲しい。

A10:厚生労働省のホームページ:

(<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/index.html>)に、これまでの行政の取り組み、今後の取り組み、その他アスベスト自体についての情報などが掲示されていますので、そちらをご覧ください。